

## 令和4年度第1回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

【日時】 令和4年6月20日（月） 15時05分～16時20分

【場所】 加古川市役所南館（旧勤労会館）3階301会議室

【出席委員】 松田会長、下村副会長、稲田委員、今井委員、江指委員、北野委員、千堂委員、千徳委員、高瀬委員、高橋委員、三柴委員、宮井委員、村山委員、山下委員（14名）

【会議次第】

- 1 開会
- 2 報告事項
  - （1）教育・保育の利用状況及び取組状況について
  - （2）地域子ども・子育て支援事業の取組状況について
  - （3）子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
- 3 その他
- 4 閉会

【配付資料】

資料1：令和4年度第1回加古川市子ども・子育て会議 座席図

資料2：加古川市子ども・子育て会議 委員名簿

資料3：加古川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業 利用定員一覧表  
（令和4年4月1日現在）

資料4：令和4年度 保育所等（2号・3号認定）の入所状況及び待機児童数について  
（令和4年4月1日現在）

資料5：令和4年度 幼稚園等（1号認定）の施設別入園状況（令和4年5月1日現在）

資料6：地域子ども・子育て支援事業の取組状況

資料7：放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の施設整備状況について

資料8：令和4年度 児童クラブ別・学年別児童数（令和4年4月1日現在）

資料9：子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

資料10：「量の見込み」と「実績値」との比較表（令和4年4月1日時点）

（参考）

- ・事務局出席者名簿
- ・事前質問一覧等

議事要旨

1 開 会	
2 報告事項	<p>(1) 教育・保育の利用状況及び取組状況について 資料3から資料5により説明</p> <p>委員 まずは、待機児童ゼロの達成に御礼申し上げます。待機児童ゼロということ、市として積極的にアピールしてはどうか。 また、事前質問もしているが、今までは待機児童解消のために量に対する施策を優先していたと思うが、今後は質に対する施策を強化してほしい。私個人としては、加古川市の小・中学校で実施している協同的探究学習を、幼稚園等でも取り入れてほしいという思いがある。</p> <p>事務局 待機児童はゼロにはなったものの、隠れ待機児童の方もいる状況である。まずは、そのような方にも入所していただけるよう引き続き努めていきたい。 また、質の向上については、事前質問で回答した「保育士等キャリアアップ研修」等の取り組み以外にも、経験年数が長く質の高い保育士等を確保する取り組み等にも今まで以上に努めていきたい。</p> <p>委員 認定こども園の中でも、1号認定から2号認定へ移りたいという家庭が増えていると感じている。だが、2号定員が既にいっぱいだと人数の調整がややこしいというような話が園長会の中であった。待機児童ゼロではあるが、隠れ待機児童のみならず、1号認定から2号認定へ移りたいという家庭が今後増えていかないかという懸念がある。 幼稚園等の1号認定の入所が去年より減っているということは、1号認定の希望が減り、2号認定の希望が増えているのだと思う。そうすると、希望園に入れるために、3号認定を希望する家庭もまた増えることが予想され、待機児童の問題がまた発生するのではないかと心配している。 また、待機児童ゼロで私達が今後心配するのは、定員割れの問題である。子どもの数が減る中で定員割れが起こると、園の運営がどうなるのか大変心配しているので、その辺のところもあわせてしっかりと計画の中に織り込んでいただきたい。</p> <p>事務局 幼稚園等の1号認定の入所状況をもう一度申し上げますと、資料5のとおり今年度は1,317名だが、昨年度は1,474名で157名減となっている。 おっしゃるとおり、1号認定の利用は減り2号認定の利用は増えている状況であり、市としてはニーズの動向を注視しつつ、園の運営にもできる限り配慮しながら計画を進めていきたい。 特に、認定こども園においては、園の運営上難しいところもあるかと思うが、保護者の就労状況にかかわらず1号認定から2号認定へ、または2号認定から1号認定へ移れるのがメリットのひとつである。</p>

	<p>また、現在の2・3号定員に対する法人保育園等の入所率は99%だと申し上げたが、今後も4～5歳は比較的空きがある一方、0・1・2歳は非常に厳しいといった入所状況が続くと考えられる。5年先、10年先の将来を見据えた上で検討していきたい。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>(2) 地域子ども・子育て支援事業の取組状況について 資料6から資料8により説明</p> <p>リニューアルした両子育てプラザで、娘が楽しく遊ばせてもらっている。「ボーンランド」について検索すると、他市ではボーンランドプロデュースでユニバーサル遊具のある公園を整備したとの情報があった。様々な子どもと一緒に遊ぶことがインクルーシブ教育につながると思うので、加古川市でもユニバーサル遊具の導入を検討してほしいという思いで事前質問させていただいた。是非、こども部から公園整備を担当する部署へ積極的な導入を働きかけてほしい。</p> <p>おっしゃるとおり、インクルーシブ教育は、市においても非常に大きな課題となっている。事前質問に回答しているとおり、今後、権現湖や日岡山公園へ大型遊具を入れる際に、ユニバーサルの視点に立って進めていくのは非常に大切だと考えている。関係課と情報共有しながら取り入れていきたい。</p> <p>資料6の27ページの一時預かりについては、実績値が上回っている。4年度の実績値にある、「質の向上」に向けた取り組みの中で、「今後も希望する全ての保護者が利用できる環境を整備するため、私立施設・事業所への事業実施に係る補助を継続的に実施する。」ということだが、加古川市には申し訳ないが、私の園は一時預かりを実施していない。その理由は、現在通園している子どもだけで施設がいっぱいになっているからである。別の部屋で一時預かりの子どもを預かりたいと思っても、その部屋がなかなか確保できない。また、現在ある部屋で一時預かりの子どもをとっても、やっと落ち着いてきた中に子どもが突然入ってきて、これでは保育の質は保てない。以上の理由から、もし一時預かりを実施するのであれば、きちんと部屋及び保育士が確保できた状態でありたいと考えている。</p> <p>やはりどこの園も一時預かりを実施しながらの運営は無理をしているところがある。通園している子どもたちや職員の負担などいろんなことを考えながらで、いっぱいになってきているのが実際ではないか。</p> <p>そこで伺いたいのが、統廃合で空いた北部の幼稚園を活用し、一時預かりの施設をつくる考えはないのか。また、市として一時預かりの施設を設置する、または設置を検討いただける余地はないのか。</p> <p>おっしゃるとおり、別の部屋を確保せずに一時預かりを実施するのは、質の確保の点で難しいと懸念している。現在、一時預かり実施園に対しアンケートを取っているところなので、まずはその状況を分析したいと思っている。</p>

	<p>また、他市の事例では、空き部屋を一時預かりに活用して経営を成り立たせている法人保育園もある。市内の状況を把握した上で、民間でどこまで実施できるのかを見てみて、最終的に公立が必要であるのであればそういうこともあるかもしれないが、まずは現状分析したいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>一時預かりのアンケートを実施しているという話は他の園から聞いていた。 今ある部屋に空きが出ることは、子どもの数が徐々に減って定員割れが出てくるということかと想像し、少しドキッとした。市においても一時預かりの質を懸念しているとのことなので、質が確保されるようなことを考えていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今は子ども2人とも大きいですが、下の子が小学校6年間児童クラブに入っていた。上の子の時は小学校4年生になった時点で児童クラブを退所しなければならなかったのですが、仕事に行っている私としては不安だったのを覚えている。下の子の時に小学校6年生まで入れることになり、すごくありがたかった。 資料6の7ページ、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の「質の向上」に向けた取り組みの一環として、児童クラブの先生の研修を年7回実施しているようだが、自分の子どもや他の子どもから「先生が気分で接してくる」、「先生の言い方がきつい」、「先生が怖いから行きたくない」といった意見があった。 もちろん先生も必死にやってくれているし、研修も一貫して実施されていると思うが、推進員の定期的な巡回指導を増やしてほしい。また、保護者は、直接先生に言いにくいこともあると思うので、定期的に保護者向けアンケート調査を実施してほしい。 小学校6年生まで預けられるようになったという安心感とは逆に、子どもがそれでストレスを抱えてしまうという不安もあるので、そういう質の向上も考えていただけたらと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>児童クラブ推進員の巡回回数が少ないのではないかと私たちの考えもあり、令和4年度から4名から7名に増員し、基本的には毎日、エリアごとに担当を分けて、児童クラブを巡回している。巡回に際しては、支援員や補助員が児童に寄り添った対応ができるように、児童クラブ推進員が気づき次第、支援員や補助員に直接指導・助言を行っている。 また、令和3年度には、質の向上のための取り組みということでアンケートを実施した。アンケートでいただいたご意見等は、研修会で受講者へフィードバックしている。 もちろん、このような取り組みで終わりというわけではなく、今後も質の向上に向けた取り組みを継続して進めていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>資料6の30ページの妊婦健診事業（妊婦健康診査費助成事業）について、妊婦一人あたりの助成額を増額、また多胎妊娠に関しても増額したとのことだが、他市（例えば神戸市）と比べると、金額はちょっと少ないと思う。助成額だけが支援と</p>

事務局	<p>いうわけではないが、他市と比較しやすいという点で、金額は非常に言われやすいと思うので、助成額の増額を検討してほしい。</p> <p>また、多胎妊娠した私の友人に関連したお願いだが、兵庫県では多胎支援としてベビーカー等の購入補助を始めたと聞いている。県の施策であっても、妊婦健診や乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の場でぜひ紹介してほしい。</p> <p>あと、その友人は低体重胎児を出産したが、他市では低体重専用の母子健康手帳があると伺っている。他市の私の知り合いは、成長曲線に乗らないのが結構ショックで、自分の市が低体重専用の母子健康手帳を交付していると後から知ったという話を聞いた。多胎の方への特別な支援についても、質にこだわってやってほしい。</p> <p>まず、妊婦健診の助成額は、加古川市は県下平均よりも少ない額であると把握しており、増額の方で検討をしている。多胎妊娠の場合は、令和3年度より一人あたり2万5000円上乗せで助成している。</p> <p>また、ベビーカー等の補助については今のところは考えていないが、今後の検討事項としたい。</p> <p>あと、低出生体重児で一般的な成長曲線に乗らないという問題についても、対応が必要であると把握している。</p>
	<p>(3) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて 資料9から資料10により説明</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
3 その他	<p>委員 先日、里親会の総会があり、加古川市からは部長の参加があった。参加に御礼申し上げますとともに、加古川市の里親支援や児童虐待対策の取り組みを紹介していただきたい。</p> <p>事務局 家庭支援課のみならず各課全般に関係する話かと思うが、関係課へ確認したところ、特別に支援体制を取っているということではないが、里親の立場・状況を踏まえて、適時適切に相談を行っている旨を聞いている。</p> <p>家庭支援課に関して言うと、令和2年10月に広報かがわで里親特集を組み、PRを行った。里親事業を所管する子ども家庭センターに聞いたところ、その後かなり反響があったらしく、広報を見て里親になりたいという声がたくさんあったとのことだった。今後も機会を捉えて、PRに努めていきたいと考えている。</p> <p>委員 児童クラブの質の向上について、支援員の研修を行っているとのことだが、補助員の研修というのは計画にあるのか。</p>

事務局	<p>補助員に対しては、年2回実施している。また、今年度より、配慮が必要な児童との関わり方の研修をプラスアルファで設けたところである。</p>
委員	<p>子育て支援事業をしている中で、児童クラブの話はよく耳に入ってくる。質の向上のための研修をいろいろ実施しているが、昨年度から実施している研修についても、支援員から「受講してよかった」や「こういう研修を待っていた」といった声があったとともに、補助員からも「私たちも受けない」と研修の場を求める声も聞いた。</p> <p>あと、アンケートに関しても、クラスの中では支援員に主導権があるので、補助員の意見はなかなかあがらないし、代替補助員も口を出せない。そういった状況が、児童クラブの質に影響を与えていると感じる。</p> <p>もし、アンケートを実施するのであれば、補助員や代替補助員の意見も吸い上げていただき、可能な限りその方たちへの研修を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>補助員の研修の機会は今後も増やす検討をしているところだが、研修以外にもエリアごとの会議に補助員も参加いただき、意見を吸い上げていきたいと思う。</p> <p>また、先ほど申し上げたとおり、児童クラブ推進員が基本的には毎日、現場を巡回し、支援員のみならず補助員にも声掛けをしているので、実際に補助員からいただいた意見も保育に反映しているところである。</p> <p>今後も質の向上に向けた取り組みを継続して進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>私のように、保育園に行きたくても行けない親の気持ちを聞いていただきたい。</p> <p>子どもが2歳になり、家庭での保育も大変になってきたこと、私自身ももう一度社会に出たいという気持ちが大きくなったこともあり、5月ぐらいに市役所へ入園相談に行ったことがある。その際、第一声で窓口の方に「お仕事決まってらっしゃるんですね」と言われた。認可保育園に入れるのは、ほとんどが仕事のあるお母さんだと思うが、「仕事を探したいから、まず入園させたい」という思いの、私みたいなお母さんが実は多い。</p> <p>私の周りのお母さんも仕事をしなくても子どもの預け先がなくて、私の場合は実家が近いが、親にずっと頼るのもやっぱり悪いと感じている。自分自身や家庭のことだし、使えるものは使いたいって思うので、市に相談に行ったが、その第一声はそのような感じだったので、考え方の違いに少し傷ついた。</p> <p>認可外の保育園等に入れる方法もあるとは思いますが、少しでも長く、子どもが小学校にあがるまで見てもらえる保育園をと思って相談してみたが、入口が違うように感じた。それを周りのお母さんに言ったら、結構皆さん「それ言われたよね」という反応だった。また、「仕事をしてなかったら、認可保育園はまず無理」、「パートか…、正社員になりたいけど、やっぱり幼稚園に入れてから考えようか」という声も本当に多かった。</p> <p>実は、私が公募委員に応募したきっかけはそこにあって、「仕事を始めたい」という気持ちのお母さんもいるということを知ってほしい。</p>

事務局	<p>まずは、不快な思いをされたことについて、この場を借りてお詫び申し上げます。</p> <p>適切な対応に努めるよう課内で周知するが、求職活動中の場合も認可の保育園等へ申込みは可能である。他にも不快な思いをされた方がいるとのことなので、より市民の皆さんの気持ちに寄り添った窓口対応に変えていきたいと思う。</p> <p>私たちもスマイルメール等各方面からご意見をいただくことがあるが、窓口対応の改善を図るため、ご意見があれば、直接でも結構なので教えていただきたい。</p>
4 閉 会	